

2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明 **実績、業績予想**

2024年11月1日

株式会社日清製粉グループ本社



目次



1. 第2四半期（中間期）実績
2. セグメント別 実績分析
3. 営業外損益・特別損益（実績）
4. キャッシュ・フロー計算書（実績）
5. 2025年3月期 業績予想

1. 第2四半期（中間期）実績①

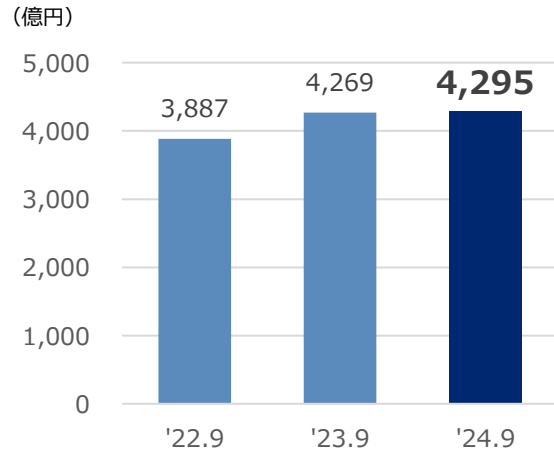
(単位：億円)		前年実績	2025年3月期 第2四半期（中間期） 実績	前年差	前年比	業績予想差 (7月公表)	業績予想比 (7月公表)
売上高 (うち、海外売上高)		4,269 (1,324)	4,295 (1,372)	+26 (+48)	+0.6% (+3.6%)	▲5 —	▲0.1% —
	製 粉	2,278	2,287	+10	+0.4%	—	—
	食 品	992	1,019	+28	+2.8%	—	—
	中食・惣菜	781	785	+5	+0.6%	—	—
	その他	219	203	▲16	▲7.3%	—	—
営業利益 (うち、海外営業利益)		255 (78)	260 (94)	+5 (+16)	+2.0% (+19.9%)	+5 —	+2.0% —
	製 粉	147	155	+7	+5.1%	—	—
	食 品	47	39	▲8	▲16.3%	—	—
	中食・惣菜	34	34	+0	+0.1%	—	—
	その他	26	32	+7	+25.8%	—	—
	調整*	1	▲0	▲2	—	—	—
経常利益		265	271	+6	+2.1%	+6	+2.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益		184	204	+19	+10.4%	+4	+1.8%

* セグメント間取引消去等

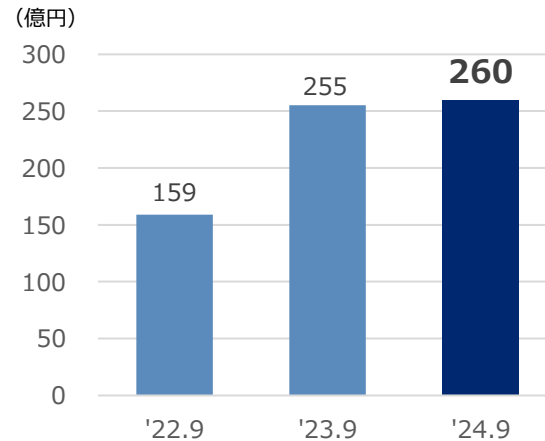
※金額は億円未満四捨五入

1. 第2四半期（中間期）実績②

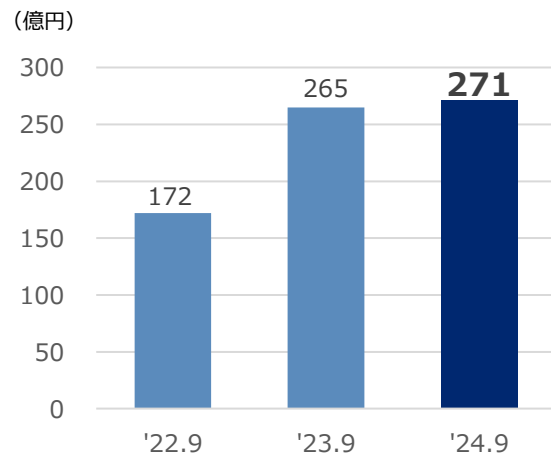
売上高



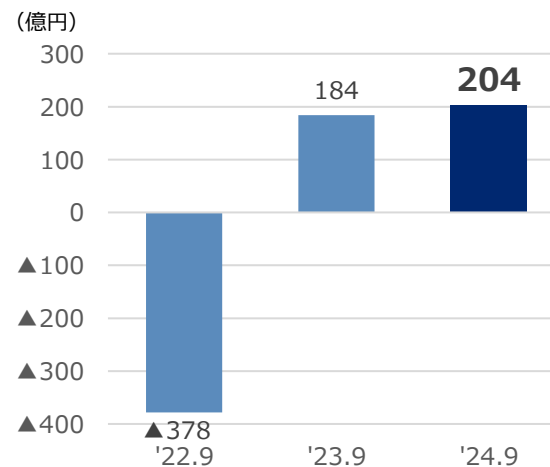
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する中間純利益



※金額は億円未満四捨五入

- ▶ 売上高は、海外製粉事業における出荷増および為替換算の影響、酵母・バイオ事業における販売増等により、**増収**
- ▶ 営業利益は、各事業において原材料費や輸送費、労務費等のコスト上昇が継続する中、海外製粉事業およびメッシュクロス事業の業績が堅調に推移したこと等により、**増益**

売上高	： 前年比	+	0.6%
営業利益	： 同	+	2.0%
経常利益	： 同	+	2.1%
親会社株主に帰属する中間純利益	： 同	+	10.4%

2. セグメント別 実績分析①

売上高分析（前年差）

（単位：億円）

製粉 +10億円

国内小麦粉出荷（出荷前年比102%）	+19
麦価改定に伴う粉価改定他	▲37
ふすま価格	+0
海外売上高	+28

食品 +28億円

加工食品売上	+17
家庭用小麦粉売上	+1
プレミックス売上	+4
パスタ関連売上	+8
冷凍食品売上	+0
加工食品海外売上	+8
その他	▲4
オリエンタル酵母工業売上	+22
日清ファルマ売上	▲11

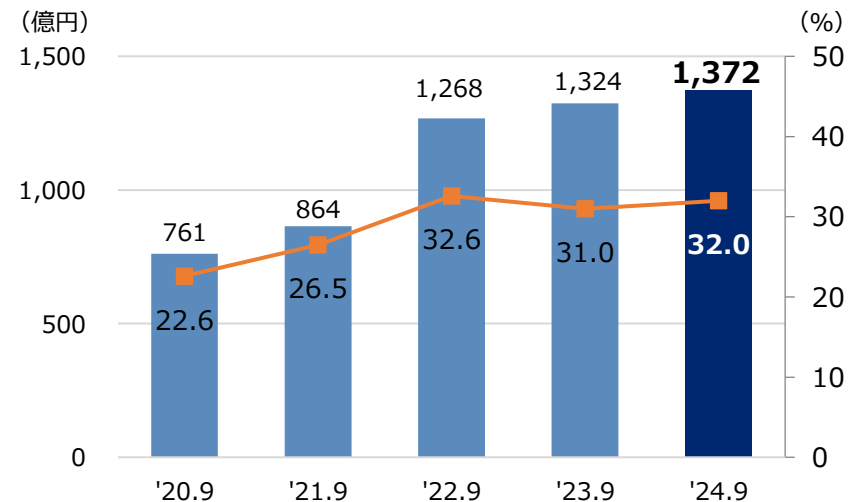
中食・惣菜 +5億円

中食・惣菜売上	+5
---------	----

その他 ▲16億円

NBCメッシュテック売上	+13
設備工事売上他（日清エンジニアリング他）	▲29

【参考】海外売上高 *折れ線は海外売上高比率



2. セグメント別 実績分析②

営業利益分析（前年差）

（単位：億円）

製粉 +7億円

国内小麦粉出荷数量	+ 3
拡販施策費	▲ 2
ふすま価格	+ 0
コスト関連他	▲ 7
海外営業利益	+13

食品 ▲8億円

出荷数量	+ 2
拡販施策費	▲ 2
コスト関連他	▲ 8
海外営業利益 （オリエンタル酵母工業、日清ファルマ輸出含む）	▲ 0

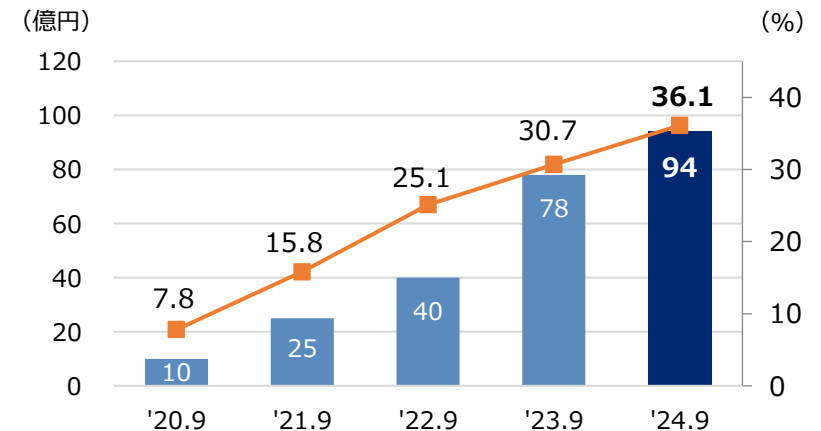
中食・惣菜 + 0億円

売上	+ 1
コスト関連他	▲ 1

その他 + 7億円

売上	+ 5
コスト関連他	+ 2

【参考】海外営業利益 * 折れ線は海外営業利益比率



3. 営業外損益・特別損益（実績）

（単位：億円）

	前年実績	2025年3月期 第2四半期（中間期） 実績	前年差	備考
【営業外損益】				
金融収支戻	▲4	▲0	+4	
持分法による投資損益	7	10	+3	
その他	7	0	▲7	
営業外損益収支	10	11	+1	

【特別損益】				
投資有価証券売却益	3	43	+39	政策保有株式売却差
減損損失	▲13	▲1	+12	(前年) 酵母・バイオ事業の工場閉鎖
その他	▲2	▲2	▲0	
特別損益収支	▲11	39	+51	

※金額は億円未満四捨五入

4. キャッシュ・フロー計算書（実績）

（単位：億円）

	前年実績	2025年3月期第2四半期（中間期）		前年差	
		実績	主な内容		
現金及び現金同等物の期首残高	830	1,077		+ 247	手許資金* 1,095
営業活動によるC F	338	318	税金等調整前中間純利益 + 310 減価償却費 + 115 運転資金の減少 + 20 法人税等の支払額 ▲29	▲20	
投資活動によるC F	▲138	▲147	設備投資（支払いベース）▲201 投資有価証券売却 + 45	▲9	
財務活動によるC F	▲150	▲196	配当金支払額 ▲71 短期借入金(運転資金目的)等の減少▲96	▲46	
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	▲8		▲25	
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	0		0	
現金及び現金同等物の中間期末残高	897	1,045		+ 148	手許資金* 1,053

* 手許資金：3ヶ月超預金、運用債券も含める

	前年実績	2025年3月期 第2四半期（中間期） 実績	前年差	主な内容
設備投資（工事ベース）	121	176	+ 55	水島工場新設
減価償却	111	115	+4	

※金額は億円未満四捨五入

5. 2025年3月期 業績予想①

- ▶ 売上高は、国内製粉事業における麦価改定に伴う小麦粉価格引下げの影響はあるものの、海外製粉事業における為替換算の影響やメッシュクロス事業における出荷増等により、**増収**を見込む
- ▶ 営業利益は、国内製粉事業は減益ながら、海外製粉事業、食品事業や中食・惣菜事業の増益、メッシュクロス事業における出荷増等により、**増益**を見込む
- ▶ 業績予想は、政策保有株式の更なる縮減を織り込み、親会社株主に帰属する当期純利益を**上方修正**

(単位：億円)	前年実績	2025年3月期 業績予想	前年差	前年比	業績予想差 (7月公表)	業績予想比 (7月公表)
売上高	8,582	8,700	+118	+1.4%	—	—
うち海外売上高 (海外売上高比率)	2,682 (31.3%)	2,851 (32.8%)	+169	+6.3%	—	—
営業利益	478	510	+32	+6.7%	—	—
うち海外営業利益 (海外営業利益比率)	155 (32.5%)	186 (36.5%)	+31	+19.7%	▲2	▲1.1%
経常利益	500	530	+30	+6.0%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	317	390	+73	+22.9%	+10	+2.6%

※金額は億円未満四捨五入

5. 2025年3月期 業績予想②

セグメント別 売上高

(単位：億円)

	業績予想	前年差
製 粉	4,620	+38
食 品	2,080	+69
中食・惣菜	1,540	+ 4
その他	460	+ 6
合 計	8,700	+118

製 粉

+38億円

(単位：億円)

国内小麦粉出荷（出荷前年比100%）	+ 10
麦価改定に伴う粉価改定他	▲97
ふすま価格	+ 0
海外売上高	+125

食 品

+69億円

加工食品国内売上	+16
加工食品海外売上	+18
オリエンタル酵母工業売上	+42
日清ファルマ売上	▲ 7

中食・惣菜

+ 4億円

中食・惣菜売上	+ 4
---------	-----

その他

+ 6億円

N B C メッシュテック売上	+25
設備工事売上他（日清エンジニアリング 他）	▲19

5. 2025年3月期 業績予想③

セグメント別 営業利益

(単位：億円)

	業績予想	前年差
製 粉	290	+ 4
食 品	95	+11
中食・惣菜	55	+ 1
その他	69	+15
調 整*	1	+ 0
合 計	510	+32

* セグメント間取引消去等

(単位：億円)

製 粉	+ 4億円
国内小麦粉出荷数量	+ 1
拡販施策費	▲ 4
ふすま価格	+ 0
コスト関連他	▲17
海外営業利益	+24
食 品	+11億円
出荷数量	+ 8
拡販施策費	+ 1
コスト関連他	▲ 1
海外営業利益 (オリエンタル酵母工業、日清ファルマ輸出含む)	+ 3
中食・惣菜	+ 1億円
売上	+ 1
コスト関連他	+ 0
その他	+15億円
売上	+ 6
コスト関連他	+ 9

記載内容に関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。